５年　総合的な学習の時間「車いす体験教室」

令和２年１１月２０日

丁寧に教えていただきました。

活動の仕方を真剣に聞いています。

段差を慎重に乗り降りしている様子

介助者なしで乗らせていただきました。

５年生の総合の学習の時間では、車いす体験を通してバリアフリーの必要性を学び、介助する側、される側の関わりについて考えました。

伊勢崎市社会福祉協議会役員２名、ボランティアの方７名、計９名の協力のもと、体育館に様々な障害をおいたコースを作り、そのコースを車いすに乗った要介助者、その車いすを押す介助者のペアで回りました。また、介助者をつけずに１人で車いすに乗る体験もさせていただき、初めて車いすに乗る児童も多く、貴重な体験をさせていただくことができました。

子どもたちからは「動かしてみたらとても難しく、まっすぐに進まないので、車いすを押すときは、乗っている方への思いやりが大切だと思った。」「車いすに乗っている人にとって段差が多いのはとても大変なので、バリアフリーは、とても大切だと思った。」などの感想がでてきました。

今後、この体験を生かしてよりよい街づくりをするには、自分は何ができるのか考え、行動を起こしてほしいと思います。（５年）